

ライディングスポーツカップ
ミニバイク 4時間耐久レース
UNDER 400 cc 2時間耐久レース
2017.7.16
(大会規則書)

『北陸バイクフェスティバル』の目指すところ

まずは北陸地方で誰でもが参加できるバイクイベントを。

一般的にバイクレースというと参加したいけれど、、、

「危険」「お金かかる」「自分にはレベルが高すぎる、、」等あると思います、これらの要素を出来るだけ排除し一人でも多くの人にサーキットを走ってバイクの楽しみを知ってもらいたい。

それが『北陸バイクフェスティバル』の目標です。

夏大会は、過酷な炎天下の中でこそその耐久と1年の目標となるイベントを開催します。

「レースを楽しむ」ということ 勝つことだけがレースじゃない！

レースというと「勝ち負け」をイメージする人が多いと思います。

しかし耐久レースでの完走、走りきること、仲間たちと一喜一憂する事もレースの醍醐味です。

『北陸ミニバイク 4時間耐久』『UNDER 400 cc 2時間耐久』は『楽しんだ人が勝ち』です。

参加者全員で楽しむために安全でフェアなレースを！

楽しめるレース。そのためには安全とフェアプレーが必須です。

ですので、ルールやマナーにはちょっとうるさいかもしれません。

私たちは参加者の皆さんと一緒に『北陸ミニバイク』を盛り上げていきたいと考えています。

大会日程

【開催日】2016年7月17日（日）

会場 富山県おわらサーキット

〒939-2367 富山県富山市八尾町平林 72-1

TEL : 076-455-0687 FAX : 076-455-2546

主催

北陸バイクフェスティバル事務局

920-0059 石川県金沢市示野町西19番地

株式会社マルトモ商店 中山真太郎

076-267-3100 FAX076-267-3104

【 競 技 規 則 】

競技内容

「ミニバイク 4 時間耐久レース」「under400cc2 時間耐久レース」はスタートから規定時間経過時点での周回数によって順位を決定します。

当日の流れ

1 タイムスケジュール (別紙参照)

ゲートオープン時間を含めたタイムスケジュールは受理書とともに送付します。

また、入場の際にはエントラント入場券をゲートに提示ください(提示無き場合は入場料がかかります)

2 駐車場について

今回、駐車スペースに指定はありません、ただし耐久 1 チーム 1 台の駐車スペースの範囲で駐車をお願いします。

(バイク 1 台に 2 台以上トランスポーターのある場合、指定区域に移動してもらう場合があります。

また、ピットエリアへの乗り入れは特に指定した場合を除き禁止します。

3 ピット割りとはピットへの搬入

ピット使用は各決勝時のみ指定(受付時に指定)となります、それ以外の時間は譲り合ってお使いください。

4 参加受付

参加者は当日朝、受付にて受理書を提示してください。WEB エントリーは、受理書と共に**全員の署名捺印が入った誓約書**を提出ください。

5 車検

参加車両と全ライダーの走行装備、給油予定のチームは**給油装置**を持って車検を受けてください。

前日、7月15日おわらサーキット現地にて14時より事前車検を行います。

(イベント当日の選手受付、車検を全て終えたチームで先着でピットエリアを指定できるようにいたします、当日はお早めに受付をお願いします) **車検を受けていない車両は練習走行含め一切の走行を認めません。**

6 ブリーフィング 集合写真撮影

車検、受付、を終え走行前にブリーフィングを行います。当日の注意事項等を伝達します。

ライダーは必ず全員参加してください、注意事項ありますのでピットクルーの方も参加してください。

7 under400cc2 時間耐久練習走行 9:00~9:20 ミニバイク 4 時間耐久練習走行&タイム計測 9:25~9:50

- ・ **under400cc クラスの同じチームの車両は同時に走行出来ません。**ピット内で交代して交互に走行ください。
- ・ コースイン・ピットインの手順を確認してください。
- ・ コースの状態やオフィシャルの位置 旗の提示位置を確認してください。
- ・ おわらサーキットの走行が初めての方は、コース・ラインを確認してください。

決勝を走行するライダーは1周以上の練習走行をお願いします。

8 レーススタート under400cc2 時間耐久 10 時 00 分 ミニバイク 4 時間 13 時 00 分

いずれもルマン式スタートとします。

- ・ underb400 c c 2 時間耐久の**スタート順はエントリー順**とし、ミニバイク 4 時間耐久は練習走行の**タイム計測のベストラップ順**に整列しエンジンをかけた状態からのルマン式スタートとします。
- ・ スタート進行はスタート 10 分前よりコースインとなります、5 分前ピットレーンクローズ、それ以降のコースインは一切認められません、**それ以降はピットスタート**とします。
- ・ スタートの合図にはフラッグを用います。(スタート時刻に日章旗を振り下ろした時点でスタートとします)

- ・万が一転倒した場合は後続車を確認し後続車へアピールをしつつ避難を最優先してください。
- ・コース上での長時間の停止は禁止です。エンジンが停止した場合はオフィシャルの指示によって安全な場所へ移動してから押し掛けするか、マシンを押してピットにお戻りください。
また、**ライダーはコース内でヘルメットを脱ぐのは厳禁です。**
- ・また、今回もピットイン最低回数を設定します。(ウエットコンディションになった場合、最低ピット回数は解除します)このルールは夏に頻繁する走行ライダーの熱中症対策ですのでライダーによって極端に走行時間の差が出ないようにお願いします。
- ・マシントラブルが発生した場合は無理にピットに戻らずコース外に出てください。
特にオイルを飛散させるトラブルが起きた場合は大きな事故につながる可能性があります。
- ・ピットでの作業は基本的に作業レーンで行うこととします。しかし、大規模な作業が必要な場合はピット内もしくはパドック作業することを認める場合があります。
また、重大事故が発生した場合赤旗レース中断という措置を取ります。
事故処理が終わり再スタートします。
再スタート方法は係員の指示に従ってください。(ルマン式、もしくはピットロードからの再スタートいずれかになります。)

10 ピットイン、ライダー交代 給油 ピットアウト

ピットインは最終コーナー側よりピットインし必ずコントロールタワー前を通過して下さい。

ピットロードは徐行 40 キロ以下とします、ライダー交代はピット前で行ってください。オフィシャルが危険な速度と判断した場合、ペナルティを課す場合があります。

今回レース給油を行う場合、**ピットレーン指定給油エリア内**にて給油車両のエンジンは**必ず停止させ、直立状態で給油する事とする。**

給油の際は金属製の携行缶を使用し、クルーがサーキットピット常備の消火器を構えた状態で給油する事します。

(消火器はこちらで用意します。)

また under400cc2 時間耐久でバイクを交換する場合、**指定場所**にてトランスポンダーの交換を行い、ピットロード出口係員にトランスポンダーの固定を確認してもらった上でピットアウトを行ってください。(計測器固定の R ピンのタイラップ止めをお願いします)

また、最低ピット回数を指定させて頂きます、ミニ 4 時間耐久は 7 回以上 under400 cc 2 時間耐久は 3 回以上となります、ピット出口に長テーブルを置きますので、各チームピットアウトするライダーは記入用紙にその時の時間を書き入れてください。(規定回数を達成したチームもテーブル前では一旦停止をして頂きます。)

記入用紙はゼッケン順に並ばせて置いておきます。(混雑する場合スルーしても構いませんが必ず走行ライダーが最低回数は書き入れください)

11 レース終了

規定時間経過した時点での総合 TOP 車両に対してチェッカーフラッグを振り以降コントロールタワー前通過で競技終了とします。

決勝レース終了後、入賞マシンは必要に応じて再車検される場合があります。

主催者から分解指示などがあった場合には、速やかに対応してください。

12 表彰式

今回、表彰式では入賞者だけでなく様々な賞を設定しています。

入賞できなかったチームにも賞典授与のチャンスはありますのでできる限り出席をお願いします。

参加者の義務

- ・大会の趣旨をよく理解して責任のある行動・言動をしてください。
- ・運転やピット作業に支障をきたす可能性のある薬物の使用や**ピットクルー飲酒**も当然ですが禁止です。
- ・決められた場所以外での喫煙は禁止します。**特にピットでの喫煙は絶対にしないでください。**
- ・ビギナーや自分より技能的に下位と思われる参加者に対しては思いやりのある行動を取ってください。
(悪質な進路妨害や危険走行は1周減等ペナルティを適用します) また初心者の方にはビブスを着用して頂きます、
- ・大会およびその前後での参加者各自の車両・備品類の破損、チーム員の損傷は各自がその責任を負います。
- ・今回、**決勝レース中はピットレーンお子様厳禁**です、厳重に取り締まります。**お子様の定義は16歳未満とします。**
保護者の関係チームにペナルティを課す場合がありますので、くれぐれも目を離さないようにお願いします。
(初回は注意、2回目1周減算、3回目の注意は失格とします)
- ・大会参加にあたり関連して起こった傷害、死亡、その他の事故等で受けた損害に対し、
主催者及び大会役員、会場管理者に対して非難や責任の追及、または損害賠償の請求は出来ません。

ライダーの装備

ライダーの安全を守るため、以下の基準を満たした装備を着用してレースに臨んでください。

当然ですが、過去の転倒などにより大きなダメージを受けている物やサイズの

極端にあっていない物など安全上不備のある物に関しては使用を禁止します。

- ・シールド付きフルフェイスヘルメット(JIS-C 種、2 種、SNELL 規格のいずれかに合格しているものが望ましい)
- ・MFJ 公認のレーシングスーツもしくは同等以上の強度を持つと主催者が認めたもの。
- ・皮革もしくは同等以上の強度を持つレーシンググローブ、レーシングブーツ。
- ・脊椎パッド、チェストパッド、ヘルメットリムーバーの装着を強く推奨します。

ペナルティなど

- ・主催者は悪質なルール・マナー違反、大会の趣旨に著しく反する行動などに対してペナルティを課すことができます。主催者は指示に従わない参加者を退場させる権限を持ちます。

【 車 両 規 程 】

車両規程の意義

- ・ レースの安全性を確保するため
- ・ レースの公平性を担保するため

マシントラブルは自分だけでなく他人に危険を及ぼすことにもなりかねません、車両の整備は確実に行ってレースに臨んでください。

過剰なチューニングもトラブルの元になる場合があります、大会の趣旨をよく理解し、ライダーの技量によるレースができるように心掛けてください。迷った場合はノーマルが基本です。

車検長の権限

車検長は車検に関する全ての権限を有します。すなわち車検の可否に関する最終的な判断は車検長に委ねられます。

ミニバイク全クラス共通の規程

安全上必ず守られなければならない事項

- 3.1. 出場車両は安全上完全に整備されていること。
- 3.2. 保安部品やスタンドは取り外すこと。
また、不要なカウルの取り外しやカウルの不要部分をカットする加工、取り外しにともなう不要ステー類の取り外しおよびカットは可。
ただし、カットした部分が危険な形状にならないように注意すること。
- 3.3. 車体のいかなる部分にも鋭利な箇所がないようにすること。レバー類、ステップ類は特に注意してください。転倒や走行に伴う折れや割れによるものでも認められません。
レース中の転倒による場合でもできるだけ対処してください。
- 3.4. フロントフェンダーの取り外しは不可。
- 3.5. ステップのバンクセンサーは取り外すこと。サイドスタンドステーなどが走行時に路面に接触する場合はカットするなどして、十分なバンク角を確保してください。
- 3.6. バーエンドキャップは必ず装着すること。
ただし、未貫通タイプのグリップが装着されている車両はこの限りではありません。
- 3.7. ハンドルがいったいに切れた状態でハンドルとタンクの間には手をはさまれない
十分な隙間を確保すること。この目的のためにステアリングストッパーを取り付けたりストッパー部分を加工することは認めます。
ただし、ステアリングダンパーをステアリングストッパーとして使用することは不可。
- 3.8. キャブレターオーバーフローキャッチタンクを取り付けること。斜めになっていると十分な容量が確保できないので、できるだけ垂直に取り付けるようにしてください。
ガソリンや熱に弱い素材・飲料水容器の流用は不可とします。
- 3.9. 水冷エンジン車でラジエーターオーバーフローパイプを有する車両にはラジエーターキャッチタンクを取り付けること。
純正リザーバータンクがあるものは必要ありません。
- 3.10. 水冷エンジンの冷却水は真水もしくは水とアルコールの混合物に限ります。
- 3.11. オイルドレンボルト(オイル排出口)、フィルターキャップ(オイル注入口)はワイヤーロックすること(ネジを締める方向に引っ張るように！)。

- 3.12. 4 サイクル車でエアクリーナーボックスを取り外す場合、
ブリーザーパイプにはオイルキャッチタンク(金属製で 250cc 以上)をしっかりと
取り付けること。飲料水容器の流用は不可。

安全性・公平性の観点から守らなければならない事項

- 3.13. ミニバイク 4 サイクル車はその車両のオイル全量を受けられるアンダーカウルを装着すること。
3.14. 使用燃料は一般市販されているレギュラーガソリン、ハイオクガソリンに限ります。
3.15. レース中の給油に使用する給油器具は消防法に適合したガソリン携行缶に限ります。
ジョッキやポリ容器などは禁止です。クイックチャージャーの使用も禁止します。
3.16. カウルの材質変更、カウルステーの変更は可。シートの変更は可。
3.17. ハンドルバー、グリップラバー、スロットルグリップの変更は可。レバー類の変更も可。
3.18. ワイヤー類の変更は可。
3.19. タイヤは通常の市販ルートで販売されている物へのみ変更可。
装着可能なレインタイヤが市販されている車両に関しては
レインタイヤの使用を認めます。スリックの使用やグルーピングは不可とします。

3.20. タイヤウォーマーの使用は禁止します。

- 3.21. プラグ、プラグキャップ、プラグコードの変更は可。
3.22. CDI の交換、スピードリミッターの解除は可。
3.23. ワイヤーハーネスの変更は可。
3.24. スピードメーターの取り外しとその後処理は可。
3.25. キーシリンダーの取り外しは可。ただし、取り外した場合はキルスイッチを取り付けること。
3.26. キャブレターインナーパーツの変更、エアクリーナーの取り外しとボックスの取り付けは可。
3.27. スターター機構の取り外しとその後処理は可。
3.28. バッテリーの取り外しは可。
3.29. ブレーキマスターシリンダーガードの取り付けおよびブレーキパッド・ホースの変更は可。
3.30. 前後スプロケットの変更とチェーンサイズ変更は可。
3.31. ステップおよびシフトパターン変更にもなうリンク機構の変更・改造は可。
3.32. フロントサスペンションオイル・スプリングの変更とインナーパーツの加工は可。
3.33. リアサスペンションの変更は可。
3.34. フロントゼッケン及び車両の両サイドに参加受理書に記載の**ゼッケン番号を、
明確に読める大きさ・字体で表示すること。**市販のゼッケン文字を使用するか
カッティングシートでの自作とし、ビニールテープ・ガムテープなどの文字やゼッケンプレートは不可です。
色はベースの色と反転した読みやすい色をお願いいたします。
ベース白 文字黒 ベース赤 文字 黄色など
(当日、車検の際ゼッケンを読みづらいと判断した場合こちらで用意したゼッケン(有料)をつけて頂きます。)
- 3.35. 純正フロントスプロケットカバー、純正チェーンカバー、
リアスプロケットガードの取付けを強く推奨します。

- 3.36. その他の不要部品の取り外し、純正部品の流用などは、マシンのパワーアップや過度の軽量化などマシン性能の向上を主な目的とする場合以外であれば(新規に購入せず手持ちの部品を使いたい、安い部品を使いたい、入手しやすい部品を使いたいなど)、基本的に各自の自主的な判断に委ねます。ただし、それによって危険が生じたり公平性を損ねたりすることの無いように十分注意してください。また車検時に変更を命じられた場合は速やかにしたがつてください(異議は認めません)。

イベントカテゴリーごとの規程

ミニバイク 4時間耐久 参加車両クラス分け

- ノーマルクラス (S T, Mクラスミッション付きノーマル車) 車両の排気量は、2st-50cc 未満、4st-100cc 未満とする。

例外として KSR110・GROM125・Z125・デimonホッパー の参加を認める。

まるち杯Mクラス、Mini-MotoST NSF トロフィークラスいずれの規約を満たした車両。

NSR50/Mini TzM50R APE100&XR100MOTARD、NSF100 KSR110NSF100・NS50R・TZ50・KSR110・GROM・Z125 などが該当

- 準改造クラス (12、17 インチ S P クラス)

2 ST ミッション付準改造車。ホイールの直径が 12 インチ以下の車両 12 インチを超える車両

4 ST ミッション付き 100cc 4 ストローク準改造車 (NSF100/Ape100/XR100M/NSR 4st コンバート仕様車/NS50R 4st コンバート仕様車等)

まるち杯 SP12 SP17 車両規定に準ずる。

※その他、主催者が認めた車両(性能差のあるものはハンデキャップ措置をとります)

お問い合わせください。

※また参加台数によりノーマルクラス、準改造クラスを統一し、改造クラスには周回数ハンデキャップ措置を取り、同一クラスとして 開催する場合がありますので、ご了承ください。

- (新規) ミニバイクエンジョイクラス

上記 2 種のクラスの中でベストラップが 1 分を切らないライダーがエントリー可能

決勝レース中に 1 分を切った場合、各車両クラスにクラス移動となります。

- ストリート Under400cc2 時間耐久レース参加車両規定

ホイールサイズ 17 インチ以上で排気量 400 c c 以下のストリート走行可能ベース車両であるなら

基本出場できない車両はありません。(12 インチミニバイク、レーサー車両不可)

タイヤは一般購入できる溝付きタイヤ、スリックは不可レインタイヤ、タイヤウォーマー禁止とします。

※また 2 サイクル 2 気筒車両また 4 サイクル 400cc4 気筒レーサーレプリカ車両は動力性能が著しく高いのでハンデとしてプロダクションレース用タイヤ禁止、ストリート用スポーツタイヤでの参加のみ可能とします。

例ダンロップ α 1 3 sp ブリヂストン BT003ST S-20 など(他のタイヤの場合事前に銘柄を申告ください)

- また、今年度より、おわらサーキットは MILAPS 様の計測器を使用しておりますこれらは必ず専用ホルダーにて車両指定位置にて装着くださいませ、専用ホルダーは別売り 900 円になります。

耐久レースという事で脱落防止に、R ピンのタイラップ止めもしっかりお願いします。(車検時に確認します)

最後に

今回ミニバイクおわら4時間耐久、under400 cc 2時間耐久を開催出来る運びとなりましたこと、参加者様、協賛者様に感謝いたします。

夏の耐久大会は今年で6回目となります、まずは安全第一このイベントを長く継続する為にも、参加者様が怪我無くイベントを終えられるように、主催者一同力を尽くしますのでどうか宜しくお願いいたします。

例年の事ではありますが、この時期のイベントは多くのライダーが熱中症に掛かります、熱中症によるライダーの集中力、判断力低下はライダー本人はもちろん参加する他のライダー、オフィシャルにも危険を及ぼしますので運営する上でも熱中症対策に非常に危惧しております。

今年もライダー様が無理しないように、前回大会同様ライダー交代最少回数を決めさせていただきます。

また今回も初参加、ビギナーライダーが多く参加いたします、装着は任意ではありますがビギナーライダーの方にはカラービブスを着用しております。

ビブス着用のライダーの方をパッシング際にも注意してください、接触等の事故を確認しましたらビブスを着用していない該当チームは状況を見てペナルティを課させていただきます。

また、おわらサーキット計測器におきまして今年より、最新型のものを使用しております、車両への取り付けには十分ご注意ください。 また破損、紛失は実費になります、

北陸バイクフェスティバルは今後も北陸地方において上級者もビギナーもより沢山のの人にバイクレースを気軽に楽しんで貰えるイベントにしたいと思っています、どうか今後ともよろしくお願ひします。

また昨年より、姉妹イベントとして8月27日に福井県タカスサーキットで「タカスミニバイク8耐」と言うイベントも開催いたします。このイベントでも1チーム、3名様参戦権を2チーム分を賞典として用意しております。

インターバル短い中での北陸地方での開催となります、今回、ミニバイク耐久参加チームの中にはすでにエントリーして下さるチームが多数ございますがこちらの方も今後継続できますように北陸地方のバイクイベントを盛る上げる意味で力を入れて行きます。

皆様が笑顔でご帰宅出来る事を第一にスタッフ一同心を込めて運営いたしますので、どうか宜しくお願いします。

当日はお気をつけてご来場くださいませ。